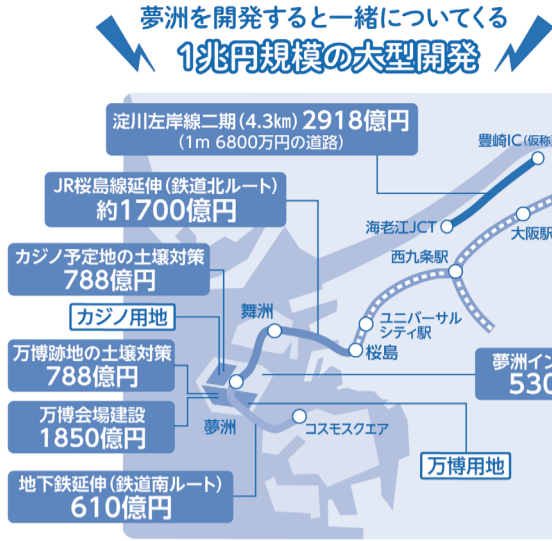


大阪市教

2022年11月4日
VOL. 596

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990

人命軽視・巨大開発 維新政治から脱却を!



大阪市をよくする
会は2023年4月
の大阪市選挙にむ
けた第1回政策懇談
会を10月4日に開き
ました。

井上浩市議員は
万博関連費用が上振
れしていることを指
摘しました。

立命館大学の森裕
之さんは大阪市政
について、この間の
緊縮財政で財政運営
は大幅に改善、人件
費はこれまで大きく

ない、公共事業(イ
ンフラ・ハコモノ)
予算を削ってきたこ
とで借金負担は小
さい、1800km超
の水道管交換計画を
水道事業者がいった
ん応募したが辞退を
表明、大阪市のイン
フラ危機となってい
る、淀川左岸線の建
設工事等今後急増、
これに夢洲整備が加
われば大阪市の財政
状況は一気に悪化す
ると指摘しました。

よくする会の中山
直和さんは、維新の
「綱領」「設立目
的」は、大阪都構想
とカジノ・巨大開発
だけが鮮明と強調。
府市一体化条例・
「規約」で決めたこ
とは、成長・発展・
まちづくり・都市計
画の事務委託、大阪
都市計画局・万博推
進局の共同設置。う
めきた、新大阪駅
前、夢洲・咲洲、大
阪城東部、関西全体
を視野に入れたグラ
ンドデザイン・大阪
都市圏など「大型開

発」ばかりと指摘し
ました。大阪市には
市民生活を豊かにで
きる財力がある、維
新政治から脱却し
のち・くらし優先を
と訴えました。

大阪市教から、中
之島西部地域の小中
一貫校(24年度開校
予定)、淀川・東淀
川・城東区の学校統

廃合の動きを報告。
各団体から脱炭素施
策、生活保護・介
護、大気汚染の政策
提言が行われまし
た。

市対連 交渉 特別支援学級増設置を 障害状況に応じ適切に

大阪市対策連絡会
議は10月5日、6
日、23年度大阪府予
算に対する要望交渉
を行いました。

文科省通知により
特別支援学級設置に
ついて不安が広がる
もとで増設置を要
求。「通常学級、通
級による指導、特別
支援学級等で特別支
援教育の充実に努め
ている。通級指導は
今年度19校23教室」
「障害の状況に応じ
適切な学級設置に
努める」と回答しま
した。

テスト漬けの学習
履歴について以前の
回答「個人情報保護
審議会を通して、適

「自己肯定感」印象的
「英語」具体的に学べた

11月

ガーパーラだより

教研集会参加の青
年教員・臨時教職員
の感想を掲載。
○記念講演の自己肯
定感のお話がとても
印象的でした。自分
の存在価値を見出す
ためには、周りの環
境が大きく左右する
と思います。そのた

め、教育でその環境
づくりに重点を置く
ようになるとうい
なと思いました。

○分科会「楽しく学
ぶイングリッシュ
ユール」学年によら
ず、アルファベット
に嫌悪感を持つこと
なく身近に感じるこ

とができるように、
また、補助が必要な
生徒への働きかけに
ついて具体的に学べ
ました。

○英語は、日本語と
口の使い方、息の
出し方が全く違う言
語なので、小学校で
フォニックスや、聞

き流しをして頂ける
こと、保護者とし
て、ありがたいと思
いました。先生が
「必ず繰り返し発音
させる」とおっしゃ
っていたことが印象
的でした。

○分科会で大きな声
で答えていると、自
分がしていることを
自分で認めることが
でき、とても気持ち
よくなってきまし
た。90分があっとい
う間でした。

2022年度賃金
確定市労組連要求書
提出交渉を10月20日
に行い、市人事委員
会が勧告した月例給
7564円増、会計
年度任用職員の期末
手当0.1月分引き
上げ実施を求めまし
た。賃金関係14項
目、労働条件関係12
項目、学校関係11項
目、労働安全衛生・
福利厚生関係10項目
の実現を要求。

大阪市教は女性部
長が、安心して子ど

子どもが発達・権
利研究所は座談会
「子どもと教育、学
校はどうなっている
か」を10月16日に開
き、保護者、学童指
導員、教員、研究者
が参加しました。

子ども5人中3人
が不登校の保護者
は、子どもが「学校お
もんじゃない、5時間長
い、行きたくない」と
言っている、学校が
きゅうくつなんだろ
うなどと語りまし
た。成長が評価されるの

ではなく「高く望ま
れ」課題に到達する
かしないか、評価付
けられるのが残念と
の意見も出ました。
宿題が増えている
、遊びの時間がないこ
とが出されました。
「宿題するために学
童にきている」「習
い事で忙しく、適切
れの時間しなくオ
ンラインゲーム。ゲ
ームのことで学童に
来てもめている」実
態。受験の目標に苦
しみ相談を指導員が
受けることも。「学
力」で子どもも先生
も追い詰められてい
るのではないかと。
小学校に電話して
も職員室に先生がい
ない、「教員不足」
は深刻、塾代助成で
はなく学校でちゃん
と教えてほしいとの
保護者の声は重大で
す。子どもの意見を
聴き、親と教師が一
緒になって考える事
の大切さが共有され
ました。

市労組連 月例 欠員、人員不足深刻 7564円増を

もを産み育てる条件
として、府費から市
費への「権限移譲」
によって後退した、
妊娠障害休暇を14日
にすること、要件
(制約)が多く取得
できない短期介護休
暇の改善を市職員・
教職員で実現するこ
とを要求。

かかわり、55歳昇給
停止の廃止、60歳前
後の賃金水準を下げ
ないこと、定年前再
任用短時間勤務の職
を留意すること、加
齢困難職種への対
応、定年まで働き続
けられる職種(業務)
と職場環境を整える
ことを求めました。

岸田首相は施政方
針演説、構造的な賃
上げで、「同一労働
同一賃金、その遵守
を一層徹底」と述べ
ました。学校関係
で、同一労働同一賃
金を実現すること、
1日8時間、週40時
間の最低基準を守り
時間外には割増賃金
を支払うことを要求
しました。

大阪の子どもたち
不登校増えている
学校がきゅうくつ

たんぽぽ だより 11月

教研集会分科会
では、数多くある
分科会の中から
「障害児教育実践
交流」に行きまし
た。「障害児教育
実践交流」では、
数多くの実践例を
聞き、異学年交流
を通して児童が成
長していく姿に感
動しました。他に
も現場で実践でき
る手立てが多くあ
り、学び多い会に
なりました。みな
さんも実り多い学
習になったのでは
ないでしょうか。
2学期が始まっ
て2か月が終わ
り、もう11月で
す。今思えば、こ
の2か月は、9月
は研究授業、10月
は学習発表会と大
きな行事が多く、
あっという間に過
ぎたように思いま
す。

11月も参観や町
たんけん、12月は
地域の方との交流
や懇談会と行事が
慌ただしくやって
きますが、子ども
のことを思うと

「頑張ろう」と思
います。残りの2
学期も早いのか
なさんもしっかり
子どもと向き合い
お互い頑張ってい
きましょう。

